

令和4年2月17日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

「感染症発生動向情報（第6週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

【問合せ先】

大阪府医師会・地域医療1課
TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2022年 第6週（2月7日～2月13日）

今週のコメント

～感染性胃腸炎～ 手洗いの励行、排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 更に減少」

第6週 の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は 648例であり、前週比34.1%減であった。

報告数の第 1 位は感染性胃腸炎で以下、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症の順で、上位 5 疾患の定点あたり報告数はそれぞれ 2.63、0.18、0.18、0.13、0.09である。

感染性胃腸炎は前週比35%減の519例で、南河内3.94、中河内3.75、三島3.19、泉州2.85、堺市2.79であった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は20%減の35例で、泉州0.50、中河内0.40、大阪市南部0.26である。

咽頭結膜熱は8%増の26例で、大阪市北部0.57、大阪市東部0.21、豊能0.17であった。

RSウイルス感染症は63%減の18例で、南河内0.25、北河内0.19、堺市0.16である。

新型コロナウイルス感染症の蔓延に対する休園・休校により、その他の感染症の発生が抑制されている可能性がある。

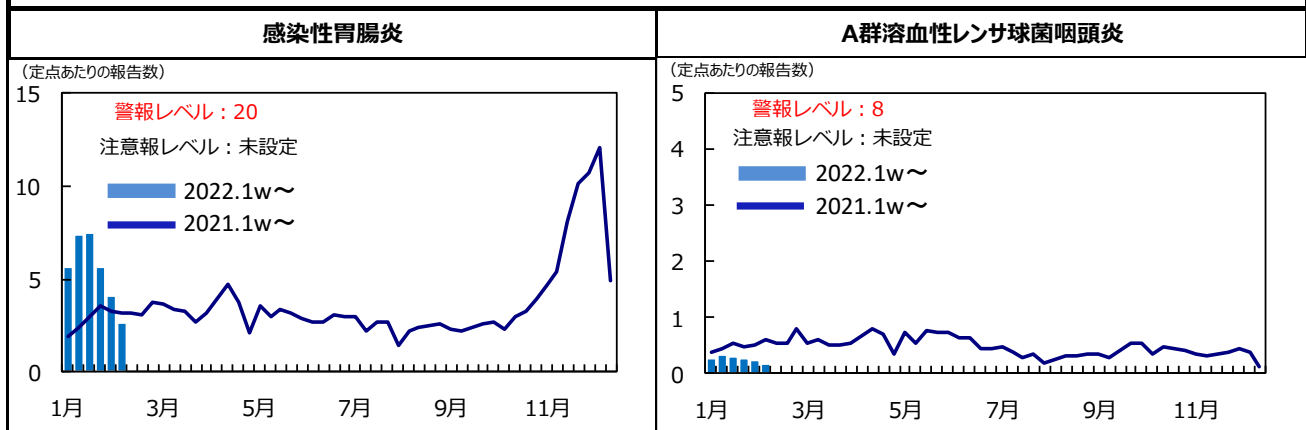


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2022年 第6週2月7日～2月13日）

第6週の 順位	第5週の 順位	感染症	2022年 第6週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2021年 第6週の 定点あたり 報告数	2022年第6週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.63	35%減	3.14	2歳_18%
2	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.18	20%減	0.59	4歳 5歳10-14歳_17%
3	4	突発性発しん	0.18	13%増	0.34	1歳_60%
4	5	咽頭結膜熱	0.13	8%増	0.15	1歳_50%
5	2	RSウイルス感染症	0.09	63%減	0.54	1歳未満_44%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.01	20%減	0.01	10-14歳(2例)_50%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第6週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防の徹底を（マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避）

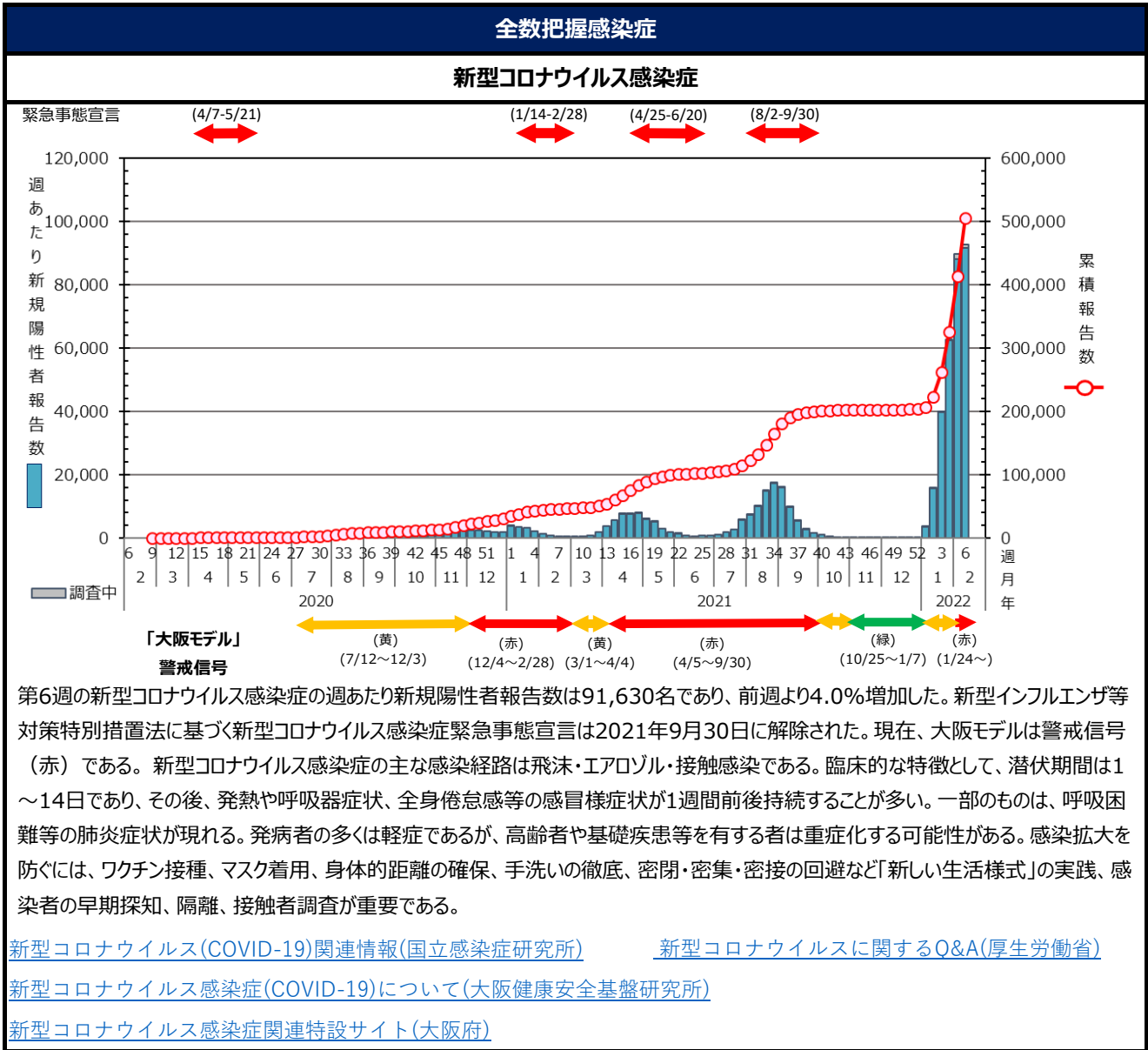


表2. 大阪府全数報告数（2022年 第6週2月7日～2月13日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1	1
5類感染症	アメーバ赤痢	1								1	6
	侵袭性インフルエンザ菌感染症	1	1								1
	梅毒	5			1		1			3	89
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	91,630	2020年1月以降累計 504,832								
結核 (2021年12月分)	結核 新登録患者数：104名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 33名) (府内累積報告数 1,178名、内 肺・喀痰塗抹陽性 449名)										

(2022年2月15日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細は[リンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。](#)

感染症発生動向調査情報（ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数）

2022年2月15日

（ブロック別）

ブロック名 定点数 疾病名		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合 計
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市 北部	大阪市 西部	大阪市 東部	大阪市 南部	
	小 児 科	23	16	26	20	16	19	20	14	10	14	19	197
	眼 科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
	基 幹	2	2	2	2	1	2	1	4				16
	インフルエンザ	34	24	41	31	24	29	33	20	15	21	28	300
小児科 定点 把握 疾患	RSウイルス感染症	0	1	5	0	4	3	3	1	0	0	1	18
	咽頭結膜熱	4	1	1	0	1	1	3	8	1	3	3	26
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	1	3	8	2	3	10	1	0	2	5	35
	感染性胃腸炎	58	51	69	75	63	53	57	35	17	5	36	519
	水痘	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	手足口病	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	5
	伝染性紅斑	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	突発性発しん	11	1	4	5	2	2	4	3	1	1	1	35
	ヘルパンギーナ	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
把握 科 疾患 点	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
合 計		75	57	82	88	74	65	83	48	19	11	46	648
基幹 定点 把握 疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	0				0
イ定	インフルエンザ	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	4

（年齢別）

第6週 2022年2月7日～2022年2月13日

年齢 区分 疾病名	6 ヶ 月 未 満	12 ヶ 月 未 満	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳 か ら 14 歳	15 歳 か ら 19 歳	20 歳 以 上	合 計
R	2	6	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
咽	0	3	13	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	26
A	0	0	0	3	2	6	6	3	1	2	3	6	0	3	35
感	2	27	78	93	52	36	42	28	21	24	15	54	11	36	519
水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
手	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
伝	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
突	1	10	21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	5	46	122	105	57	43	52	32	22	27	19	62	12	44	648
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	4

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2022年2月15日

(ブロック別)

第6週 2022年2月7日～2022年2月13日

ブロック名 定点数			01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合 計	上位 5疾患 順位
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市 北部	大阪市 西部	大阪市 東部	大阪市 南部									
疾病名	小 児 科	23	16	26	20	16	19	20	14	10	14	19	84	57	19	12	8	9	8	197		
	眼 科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52		
	基 幹	2	2	2	2	1	2	1	4					7	4	2	1	2	0	0	16	
	インフルエンザ	34	24	41	31	24	29	33	20	15	21	28	130	84	29	18	13	13	13	300		
小 児 科 定 点 把 握 疾 患	RSウイルス感染症	0	▽ 1	△ 5	0	▼ 4	▼ 3	△ 3	▼ 1	0	0	▽ 1	▽ 7	▼ 2	▼ 3	0	△ 1	0	△ 5	▼ 18	5	
	咽頭結膜熱	▲ 4	△ 1	▽ 1	▽ 0	△ 1	▽ 1	▽ 3	▲ 8	△ 1	▲ 3	△ 3	▽ 6	△ 15	▽ 1	▽ 0	△ 1	△ 3	▽ 0	▲ 26	4	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	▽ 1	▼ 3	▽ 8	2	△ 3	10	▽ 1	0	△ 2	△ 5	▽ 14	8	△ 3	▽ 8	0	0	2	35	2	
	感染性胃腸炎	▽ 58	51	▼ 69	▽ 75	▼ 63	▼ 53	▼ 57	▼ 35	▽ 17	▼ 5	▼ 36	▼ 217	▼ 93	▼ 53	37	▽ 15	▼ 21	31	▼ 519	1	
	水痘	△ 1	0	▽ 0	▽ 0	0	▽ 0	△ 1	▼ 0	0	▽ 0	▽ 0	1	▼ 0	▽ 0	▽ 0	0	△ 1	▽ 0	▼ 2		
	手足口病	▽ 1	▼ 0	0	0	▼ 1	1	△ 2	▽ 0	0	0	0	▼ 3	▽ 0	1	0	0	0	0	▼ 5		
	伝染性紅斑	0	0	0	0	1	0	△ 1	0	▽ 0	0	0	▲ 2	▽ 0	0	0	0	0	0	2		
	突発性発しん	▲ 11	1	△ 4	△ 5	2	2	▽ 4	3	1	1	▽ 1	▽ 7	▽ 6	2	△ 3	▽ 0	▲ 8	△ 4	35	2	
	ヘルパンギーナ	▽ 0	△ 2	0	0	0	▽ 0	△ 1	0	0	0	0	△ 3	0	▽ 0	0	0	0	0	3		
	流行性耳下腺炎	0	▽ 0	▼ 0	▽ 0	▽ 0	1	▽ 0	▽ 0	0	▽ 0	0	▽ 0	▽ 0	1	▽ 0	0	0	▽ 0	▽ 1		
把 握 科 定 点 疾 患	急性出血性結膜炎	0	0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▽ 0	0	0	0	▽ 0		
	流行性角結膜炎	0	0	0	▽ 0	0	△ 1	1	0	▽ 0	0	0	1	▼ 0	△ 1	0	0	0	0	▼ 2		
合 計		▽ 75	57	▼ 82	▽ 88	▼ 74	▼ 65	▼ 83	▼ 48	▽ 19	11	▼ 46	▼ 261	▼ 124	▼ 65	48	▽ 17	33	42	▼ 648		
基 幹 定 点 把 握 疾 患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
イ定	インフルエンザ	0	0	0	▽ 1	0	▽ 0	△ 1	0	△ 2	▽ 0	0	△ 1	▲ 2	▽ 0	▽ 1	0	0	0	▽ 4		

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2022年5週(1月31日～2月6日)

1～4類（全数把握）		報告数	5類感染症の一部（全数把握）		報告数
エボラ出血熱		0	アメーバ赤痢		7
クリミア・コンゴ出血熱		0	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）		3
痘そう		0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		13
南米出血熱		0	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）		0
ペスト		0	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）		6
マールブルグ病		0	クリプトスポリジウム症		0
ラッサ熱		0	クロイツフェルト・ヤコブ病		2
新型インフルエンザ（A/H1N1）		0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9
急性灰白髄炎		0	後天性免疫不全症候群		10
結核		190	ジアルジア症		0
ジフテリア		0	侵襲性インフルエンザ菌感染症		2
重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）		0	侵襲性髄膜炎菌感染症		0
中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）		0	侵襲性肺炎球菌感染症		17
鳥インフルエンザ（H5N1）		0	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）		0
鳥インフルエンザ（H7N9）		0	先天性風しん症候群		0
コレラ		0	梅毒		130
細菌性赤痢		0	播種性クリプトコックス症		1
腸管出血性大腸菌感染症		7	破傷風		1
腸チフス		0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0
パラチフス		0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0
E型肝炎		10	百日咳		4
ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）		0	風しん		0
A型肝炎		3	麻しん		0
Eキノコックス症		0	薬剤耐性アシネトバクター感染症		0
黄熱		0			
オウム病		0			
オムスク出血熱		0			
回帰熱		1			
キャサヌル森林病		0			
Q熱		0			
狂犬病		0			
コクシジオイデス症		0			
サル痘		0			
ジカウイルス感染症		0			
重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）		0			
腎症候性出血熱		0			
西部ウマ脳炎		0			
ダニ媒介脳炎		0			
炭疽		0			
チクングニア熱		0			
つつが虫病		1			
デング熱		0			
東部ウマ脳炎		0			
鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く。）		0			
ニパウイルス感染症		0			
日本紅斑熱		0			
日本脳炎		1			
ハンタウイルス肺症候群		0			
Bウイルス病		0			
鼻疽		0			
ブルセラ症		0			
ベネズエラウマ脳炎		0			
ヘンドラウイルス感染症		0			
発しんチフス		0			
ボツリヌス症		0			
マラリア		0			
野兔病		0			
ライム病		2			
リッサウイルス感染症		0			
リフトバレー熱		0			
類鼻疽		0			
レジオネラ症		12			
レプトスピラ症		0			
ロッキー山紅斑熱		0			

定点把握		報告数	定点当り
インフルエンザ		41	0.01
R Sウイルス感染症		1050	0.34
咽頭結膜熱		526	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1235	0.40
感染性胃腸炎		17903	5.74
水痘		189	0.06
手足口病		606	0.19
伝染性紅斑		42	0.01
突発性発しん		753	0.24
ヘルパンギーナ		90	0.03
流行性耳下腺炎		84	0.03
急性出血性結膜炎		7	0.01
流行性角結膜炎		112	0.16
細菌性髄膜炎		8	0.02
無菌性髄膜炎		5	0.01
マイコプラズマ肺炎		3	0.01
クラミジア肺炎（オウム病を除く。）		-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		4	0.01
定点数			
インフルエンザ		4889	
小児科		3119	
眼科		692	
基幹病院		477	
1月(月報)			
性感染症・基幹定点		報告数	定点当り
性器クラミジア感染症		2361	2.42
性器ヘルペスウイルス感染症		760	0.78
尖圭コンジローマ		420	0.43
淋菌感染症		881	0.90
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1208	2.54
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		44	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症		14	0.03
定点数			
S T D		977	
基幹病院		475	

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。